

令和元年第3回市議会定例会 一般質問通告概要一覧

| 日 時 | 人 数 |
|---------------------|---------------|
| 令和元年10月11日（金）午前10時～ | 6人（1番から6番まで） |
| 令和元年10月15日（火）午前10時～ | 5人（7番から11番まで） |

| 質問 順位 | 議 番 席 号 | 会 派 名 | 通 告 者 氏 名 | 抽 選 番 号 | 種 別 |
|----------|------------------|-------------|-----------------------|------------------|--------|
| 1番 | 1 | 日 本 共 産 党 | 遠 藤 秋 雄 | 1 | 総括質問 |
| 2番 | 3 | 自 由 民 主 党 | 佐 藤 雅 博 | 3 | 総括質問 |
| 3番 | 5 | 自 由 民 主 党 | 米 澤 ま き 子 | 4 | 一問一答 |
| 4番 | 8 | 日 本 共 産 党 | 佐 藤 恵 子 | 5 | 一問一答 |
| 5番 | 12 | 公 明 党 | 齋 藤 裕 子 | 7 | 一問一答 |
| 6番 | 9 | 日 本 共 産 党 | 戸 津 川 晴 美 | 8 | 一問一答 |
| 7番 | 11 | 公 明 党 | 阿 部 正 幸 | 10 | 一問一答 |
| 8番 | 16 | 市 民 ク ラ ブ | 昌 浦 泰 己 | 11 | 一問一答 |
| 9番 | 10 | 自 由 民 主 党 | 吉 田 瑞 生 | 16 | 一問一答 |
| 10番 | 2 | 日 本 共 産 党 | 中 田 定 行 | 17 | 一問一答 |
| 11番 | 6 | 自 由 民 主 党 | 森 長 一 郎 | 18 | 一問一答 |

計 11 名

総括質問方式： 2 名
一問一答方式： 9 名

| | | | | | |
|---|------|-------|------|-----|-------|
| 質問順 | 受付月日 | 9. 20 | 通告者 | 1番 | 遠藤秋雄 |
| 1番 | 答弁者 | 市長 | 発言時間 | 30分 | 種別 総括 |
| <p>1. 火力発電所による大気汚染について</p> <p>現在稼働している火力発電所に続き、住友商事とレノバの企業により仙台新港及び蒲生地区に、2基目と3基目の火力発電所が設置されようとしています。3基の火力発電所の存在は、深刻な大気汚染を引き起こし、市民の健康にとっても大きな不安材料になります。そこで市長の考えを伺います。</p> <p>(1) 2基目、3基目の火力発電所を立ち上げるという計画を踏まえて、複合汚染の懸念が高まり、多賀城の大気環境が大きく損なわれようとしている点からも、継続的に大気環境の変化を目に見える形で把握できる「大気観測常時監視測定局」の設置をすること。</p> <p>(2) 本市より、設置計画をしている2社に対して、「きめ細かな住民説明会」を要望すること。</p> <p>(3) 市民の健康を守るという観点で関係機関に対して、「2基目・3基目の発電所設置は認めない」という明確な立場を要望すべきと思うがいかがか。</p> <p>2. 「中小企業振興条例」及び「公契約条例」に関して</p> <p>本市における中小企業及び中小業者の果たしている役割、そこに働く労働者の生活改善に関して、市長の考えを伺います。</p> <p>(1) 本市の「多賀城市中小企業・小規模企業の振興に関する条例」第13条に「毎年度、振興に関する施策の実施状況を検証し、公表するもの」とあります。具体的な振興策があるのか、あるとすればどのような検証を行っているのか。</p> <p>同時に、第15条には、「施行に関し必要な事項は、市長が別に定める」とあります。別に定めたものはあるのでしょうか。</p> <p>(2) 「公共工事設計労務単価」（いわゆる二省協定）で、51職種を定めているが、“被災自治体”として、適正に反映されているのか。</p> <p>(3) 自治体が発注する公共事業や委託事業（いわゆる公契約事業）の契約締結にあたり、労働条件確認票（チェックシート）などの活用をしているのでしょうか。</p> | | | | | |

| | | | | | | |
|--|------|-------|------|-----|------|----|
| 質問順 | 受付月日 | 9. 20 | 通告者 | 3番 | 佐藤雅博 | |
| 2番 | 答弁者 | 市長 | 発言時間 | 30分 | 種別 | 総括 |
| <p>1. 市道南宮線の拡幅について</p> <p>平成28年、29年、30年に渡り、多賀城市区長会市政懇談会及び30年おばんです懇談会にて、南宮地区より提出された道路拡幅について、状況、見直しについて考えを伺いたい。</p> <p>2. 市道、名古層線について</p> <p>市川橋T字路交差点では、朝、夕に大変混雑しているが、名古層線の県道昇格への件に関連して、県道泉塩釜線や新田浮島線の今後の接続について、どの様に考えているのか伺いたい。</p> <p>3. 市道西沢線について</p> <p>この市道は生活道及び抜け道として利用されている。現在、住宅開発が進められている地区に居住が始まると、朝、夕に県道泉塩釜線の交差点にて混雑が予想されます。その対策について伺います。</p> <p>4. 県道泉塩釜線と史跡連絡線のT字路交差点の信号について</p> <p>この信号は時差式となっているが、塩釜方向に向かい史跡連絡線への右折車が朝夕の混雑時には数台しか進まない状況もある。旧東北歴史博物館の信号から3ヶ所の信号調整が必要だと考えますが、お伺いします。</p> | | | | | | |

| | | | | | | |
|-----|------|--------|------|-----|--------|------|
| 質問順 | 受付月日 | 9. 20 | 通告者 | 5番 | 米澤 まき子 | |
| 3番 | 答弁者 | 市長・教育長 | 発言時間 | 30分 | 種別 | 一問一答 |

1. がん罹患に伴う外見変化に対する苦悩を軽減する「アピアランス」について

がんと診断されたその瞬間から患者もその家族も忘れることはありません。診断、治療時、再発監視時、寛解後の各々に異なるニーズとケアを理解し可能な限り、生きていけるよう。

そのために抗がん剤を始めとする薬物療法の副作用による外見の変化や外科的治療による創の変化などがもたらす患者さんのストレスを軽減するための「アピアランスケア」の必要性があると思います。

そのための

- (1) 抗がん剤治療で頭髪が抜けた場合に使用する医療用ウィッグの購入助成
- (2) 乳がん患者向けの乳房の形を整える補正下着の購入助成
- (3) 又、乳がん検診対象外の40歳未満の方々へ対する啓発についてもとても重要と考えます。

2. 市内小中学校プールの維持管理費削減について

全ての小中学校に設置されているプールですが、次々に更新時期を迎える屋外プールにおいては、年間の利用期間が実質2か月程度であり、施設及び運営ライフサイクルコストの両面で効率的とは言い難い施設となっていることは、本市にとっても喫緊の課題と言えると思います。複数の学校で共有することなどでコスト面、跡地利用での活用も可能ではと思いますが、そこで伺います。

- (1) 学校教育面におけるプールの授業の法令上の位置づけについて、又、施設設置面から各学校にプールを設置することは法令に基づく義務なのか
- (2) プールの運営コストについて
- (3) 小中学校プールの築年数及び改修状況について
- (4) 今後、共有利用などの効率的な運用手法を取り入れるか

| | | | | | |
|--|------|--------|------|-----|---------|
| 質問順 | 受付月日 | 9. 20 | 通告者 | 8番 | 佐藤 恵子 |
| 4番 | 答弁者 | 市長・教育長 | 発言時間 | 30分 | 種別 一問一答 |
| <p>1. 災害公営住宅の入居者支援について</p> <p>(1) 災害公営住宅入居者の高齢化と高齢世帯の進行状況について伺う。</p> <p>(2) 加速化する入居者の高齢化に対応できるよう、一人暮らし世帯の見守り体制を充実・強化されたい。さらに入居者の健康、生活の実態調査を行われたい。</p> <p>(3) 災害公営住宅の自治会活動の充実と担い手づくり等に、市として具体的な支援を実施されたい。</p> <p>2. 東豊中の運動場の利用改善について</p> <p>東豊中学校の校庭がせまく、とくに野球部の活動に支障をきたしている。練習場の確保のために市として必要な援助を行われたい。</p> | | | | | |

| | | | | | |
|---|------|--------|------|-----|---------|
| 質問順 | 受付月日 | 9. 20 | 通告者 | 12番 | 齋藤 裕子 |
| 5番 | 答弁者 | 市長・教育長 | 発言時間 | 30分 | 種別 一問一答 |
| <p>1. 産後ケア支援について</p> <p>厚生労働省では、産婦の1割は、育児への不安から、不眠や意欲の低下などの「産後うつ」を発症し、対応が遅れれば、育児放棄や虐待、そして自殺につながる恐れから、産後ケアの重要性について、指摘されております。本市では、妊娠・出産・子育てへの、切れ目のない支援を目的に「多賀城版ネウボラ」事業を平成30年10月から開始され、大変好評であると伺っております。安心して子どもを産み育てられる環境づくりに、更なる支援体制を図るため、産後ケア支援が重要と考える事から、以下の三点について伺います。</p> <p>(1) 産後うつ予防のための産婦健診助成についての考えを伺う。</p> <p>(2) 産後ケア事業導入の考えについて伺う。</p> <p>(3) 産前・産後のヘルパー派遣事業について考えを伺う。</p> | | | | | |

2. 新生児聴覚検査について

生まれつき聴覚に障害のある先天性難聴は、1,000人に1人と言われており、新生児聴覚検査により早期に発見し、適切な療育を受ければ言葉の発達への影響も最小限に抑える事が出来ると言われております。新生児聴覚検査は、重要な検査であることから、費用負担を軽減し、全てのお子さんが受診できる環境を整えるべきと考えます。以下の2点を伺います。

- (1) 新生児聴覚検査の受診への取り組みについて
- (2) 新生児聴覚検査に係る費用の助成制度の創設について

3. 母子手帳アプリ導入について

母子手帳アプリは、現行の母子手帳などと併用することにより、更に効果を発揮する機能を持っています。行政の情報発信から、予防接種などの保護者の自己管理を促し、家族間でも共有できるため、子育ての孤立を防ぐ事から、全国的にも多くの自治体が導入されております。子育て世代のニーズの声もあることから、本市においても、更なる子育て支援の充実に母子手帳アプリの導入を考えては如何でしょうか。見解を伺います。

4. 児童生徒の通学における重い荷物の軽減対策について

保護者から児童生徒の通学における、荷物が重すぎる、との声があります。肩こりなどの健康面や、登下校時の交通安全の観点からも、荷物の負担軽減対策と「置き勉」などの学校での環境づくりを図るべきと考えます。本市の対応策のお考えを伺います。

| | | | | | | |
|---|------|-------|------|-----|--------|------|
| 質問順 | 受付月日 | 9. 20 | 通告者 | 9番 | 戸津川 晴美 | |
| 6番 | 答弁者 | 市長 | 発言時間 | 30分 | 種別 | 一問一答 |
| <p>1. 投票しやすい環境の整備</p> <p>すべての有権者に、投票しやすい環境を提供するため、次の4点について伺います。</p> <p>(1) 期日前投票所も含め、投票所の増設を求めます。</p> <p>(2) 不在者投票の指定病院や指定施設以外の場所に入所されている方々に対し、投票所カーの導入を求めます。</p> <p>(3) 郵便による不在者投票の広報を強めると共に、その対象者の拡大を国に強く求めていただきたい。</p> <p>(4) 候補者カーでの訴えを聴覚障害者の方にも聞きやすくするためのヒアリンググループの設置を認めていただきたい。</p> <p>2. 子育て支援策の拡充</p> <p>(1) 子どもの医療費助成の所得制限撤廃を求めます。</p> <p>(2) 国保の均等割は、せめて子どものそれを軽減するよう求めます。</p> <p>3. 歩行者・子どもの交通安全対策</p> <p>保育所などの施設周辺の安全対策の徹底が必要と考えますが、いかがですか。</p> | | | | | | |

| | | | | | | |
|---|------|------|------|-----|------|------|
| 質問順 | 受付月日 | 9.20 | 通告者 | 11番 | 阿部正幸 | |
| 7番 | 答弁者 | 市長 | 発言時間 | 30分 | 種別 | 一問一答 |
| <p>1. 公用車にドライブレコーダーやバックモニターの設置について</p> <p>「あおり運転」による事故やトラブルが多く発生している中、ドライブレコーダーを設置する車両が多くなってきました。公用車を運転する職員の事故抑制や注意喚起、さらに交通事故のトラブルから職員を守るために、公用車にドライブレコーダーやバックモニターを設置してはいかがでしょうか。</p> <p>2. 交通渋滞緩和のため、時差式信号機の設置について</p> <p>市道田中線と市道東田中住宅線の交差点は、朝の通勤時間帯では、市道多賀城駅北線から左折して国道に向かう車両が多く、市道田中線から右折して国道に向かう車両が右折出来ずに、信号が赤になってしまい、直進や左折する後続車両が動けず、交通渋滞が発生しております。</p> <p>交通渋滞緩和に向けて時差式信号機にしていきたい。</p> <p>3. 空き家の利活用促進に関する協定について</p> <p>宮城県内で空き家の利活用を促進するため、公益社団法人宮城県宅地建物取引業協会及び公益社団法人全日本不動産協会宮城県本部と協定を結ぶ自治体が多くなってきました。</p> <p>富谷市は、今年6月4日に「空き家の利活用促進及び適正管理推進に関する協定締結式」を行いました。</p> <p>本市においても空き家の利活用を促進するため、公益社団法人宮城県宅地建物取引業協会及び公益社団法人全日本不動産協会宮城県本部の協力をいただくため、協定を結んではいかがでしょうか。</p> | | | | | | |

| | | | | | | |
|---|------|------|------|-----|------|------|
| 質問順 | 受付月日 | 9.20 | 通告者 | 16番 | 昌浦泰巳 | |
| 8番 | 答弁者 | 市長 | 発言時間 | 30分 | 種別 | 一問一答 |
| <p>1. 東北学院大工学部移転後跡地について</p> <p>(1) 現時点で工学部移転跡地について、市は買取を含めて構想はありますか。</p> <p>(2) 東北学院大は跡地に関して何らかの構想を持っておられるのか市は把握をしていますか。</p> <p>(3) 市は工学部移転跡地を取得し、市単独か二市三町組合立の単科大学（保健学か防災学）の設立を考えてはどうでしょうか。</p> <p>2. 市西庁舎から渡り廊下設置について</p> <p>市西庁舎から西側駐車場に渡り廊下を作り、駐車場内にエレベーターを設置してはどうでしょうか。</p> | | | | | | |

| | | | | | |
|-----|------|--------|------|-----|------|
| 質問順 | 受付月日 | 9. 20 | 通告者 | 10番 | 吉田瑞生 |
| 9番 | 答弁者 | 市長・教育長 | 発言時間 | 30分 | 種別 |
| | | | | | 一問一答 |

1. 文化財として保護している歴史的建造物など多賀城碑(重要文化財)の防火対策を強化することについて

フランス・パリ中心部の観光名所で世界遺産のノートルダム寺院(大聖堂)が、平成31年(2019年)4月15日大火災、尖塔が崩落、屋根全体も焼け落ちたが、最悪の事態は免れました。文化庁は、このノートルダム寺院の大火災を受け、平成31年4月17日都道府県に防火対策を徹底するよう通知。また、令和元年9月2日文化財の防火対策指針をまとめました。

これらの事項に関係する防火対策促進の取り組みについて

2. 市営桜木住宅(桜木災害公営住宅)のごみ集積所の改良について

市営桜木住宅のごみ集積所の仕様は、市営新田住宅、市営鶴ヶ谷住宅、市営宮内住宅の形状と違うために、使い勝手が悪く問題視されていて、その構造が指摘されています。

新田、鶴ヶ谷、宮内のごみ集積所は、全面金網状に作製されているタイプのもので、カラスなどの被害を受けることもありません。

ごみ集積所の二面を網で覆うなどとしている不都合な用法の、市営桜木住宅のごみ集積所5箇所を全面金網状の仕様に改良することについて

3. 宮内地区内の道路交通安全施設の整備について

市道社三号線の一方通行路には、3・11以前の震災以前は八幡神社入口には「一方通行」の標示が、また出口に「進入禁止」の標示がありました。

ところが、3・11震災時の津波によって、それぞれが流失してしまい現在に至っている現状を、改めて再標示することについて。

| | | | | | | |
|--|------|-------|------|-----|------|------|
| 質問順 | 受付月日 | 9. 20 | 通告者 | 2番 | 中田定行 | |
| 10番 | 答弁者 | 市長 | 発言時間 | 30分 | 種別 | 一問一答 |
| <p>1. 生活に身近な市民バスに改善を。</p> <p>市民が安心して住み続けられるために、以下の点について市長の考えを伺います。</p> <p>(1) 市内のバスの利用料金の半額化を早急に行うこと。</p> <p>(2) 高齢者に対し、敬老乗車証を発行すること。</p> <p>(3) 市民が使いやすいように、バス運行経路や停留所、運行時間を見直すこと。</p> <p>(4) 自動車運転免許証返納者への無料パスを発行すること。</p> <p>(5) 宮交バス汐見台団地路線も料金軽減の対象にすること。</p> <p>(6) バスが通らない、バス停が遠い地域の足(デマンドタクシーなど)を確保すること。</p> <p>2. 水道事業を民間企業に委ねていいのでしょうか。</p> <p>「みやぎ型管理運営方式」について、以下の点について市長の考えを伺います。</p> <p>(1) 「みやぎ方式」の仕組みづくりを民間任せにしていますが、今後民間の言いなりにならないでしょうか。</p> <p>(2) 県民への説明と市町村との合意が不十分だと思いますが、丁寧な説明が必要ではないでしょうか。</p> <p>(3) 国際的メジャーの参入が予想されますが、世界各地でみられる民営化の失敗の恐れはないのでしょうか。</p> <p>(4) 水の安全性は確保されるのか、水道料金の値上げのリスクはないのか、多賀城市への影響をどう考えていますか。</p> <p>(5) 「企業秘密」として、水道事業の情報が公開されないというようなことはありませんか。</p> <p>(6) 「収入減少下の大量施設更新」という事態に直面しているとき、なすべきことはダウンサイジングしかないと言われますが、それへの対応はどうなりますか。</p> | | | | | | |

| | | | | | | |
|--|------|-------|------|-----|----|------|
| 質問順 | 受付月日 | 9. 20 | 通告者 | 6番 | 森 | 長一郎 |
| 11番 | 答弁者 | 市長 | 発言時間 | 30分 | 種別 | 一問一答 |
| <p>1. ふるさと納税について</p> <p>昨年度よりふるさと納税分の歳入が大幅に減っている。</p> <p>(1) どのような事業に影響が出ているのか</p> <p>(2) どのような対処をしているのか、しようとしているのか</p> <p>を伺う。</p> <p>2. 高齢者福祉について</p> <p>(1) 免許返納者や高齢者の外出機会創出の公共交通機関の優遇策が必要と考えるが如何か。</p> <p>(2) 反面、高齢者の運転継続で介護度が緩和されている旨の報道があったが、当局で高齢者ドライバーに対しての定期的な指導やケアはお考えか。</p> | | | | | | |